

# 根来山げんきの森倶楽部

令和6年8月作業日誌

活動日：令和6年8月18日(日) 9:30~15:00 天気：晴れ 倶楽部員：38人

先月に引き続き、猛暑の中の作業でしたが、近大社会奉仕実習の学生さんたちが9名加わって作業もはかどったようです。若い力を大いに発揮！将来が楽しみな若者たち、頼もしいですね。

## 里山整備

里山整備チームはプレイパーク手前のアラカシを切り倒し、製炭用に切枝加工しました。冒頭2つの擬音は、ベテランがチェーンソーで切り倒したときのもの。

アラカシの跡には青空が広がり、窮屈そうだった山桜も大きく枝を伸ばし、来年からは満開の花を咲かせることでしょう。

(福田 良輔)



[ギャアアーン チュイイイイーン]  
[バキバキバキッ ツツツドーン バシャーン]

「よーっし ロープ架けて引っ張り上げるぞ  
「よいっしょ よいっしょ ほ〜ら頑張れ！近大生」  
[ギコギコギコ チュインチュイン バス]

[キュルキュルキュルキュル グイイイーン]

「こーら 人力では無理やなあ ウィンチの出番や！」「ほな運びだそかあー」  
[ガタゴトガタゴト 積み終わったら、ほな運びだそかあー]

「どっこいしょっと よっしゃあ、積み終わったら、ほな運びだそかあー」  
[ガタゴトガタゴト]

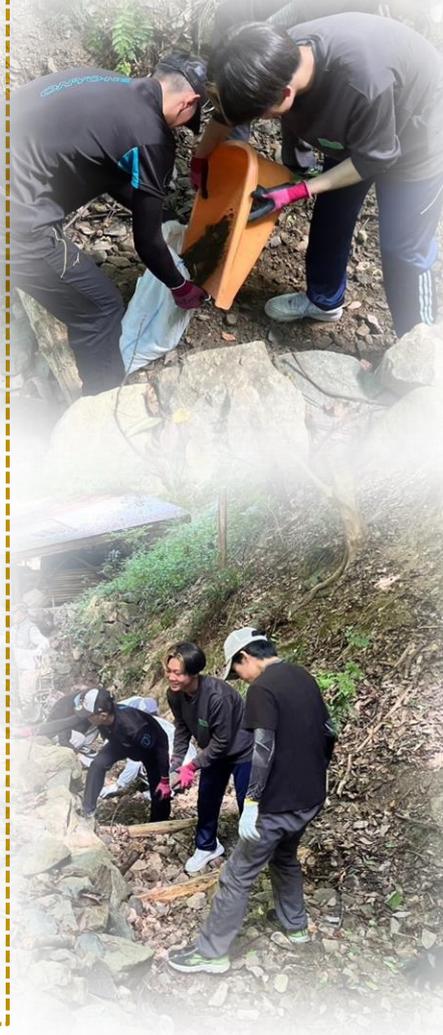
## もみじ谷の川補修と遊歩道補修

もみじ谷の終点、旧炭小屋手前の川の補修と、ふれあいの森のプレーパーク入口先の荒れた遊歩道を補修しました。倶楽部員6人と近大社会奉仕実習の学生5名での作業でした。

梅雨前的大雨で、川底に作っている土砂止めの丸太が暗渠上の土手に流されたり、川底に砂礫が溜まったりしていました。暗渠入口の網に溜まっていた小枝などを取り除き、乗り上げていた丸太を5人掛で引っ張って川底におろし、杭で留め、その後、各土砂止めの間の砂礫を土嚢袋に詰めて、テラレーに積んでいきました。50枚入りの土嚢袋を買って来てもらったのですが、半分ぐらい使ったのでしょうか、テラレーが満杯になり、これ以上積む坂を上れなくなる恐れがあるほどでした。川底の砂礫を詰めて揚げる作業はほとんど学生がやってくれました。さすが若い力！ここまでで午前の作業を終了しました。

午後、積んだ砂礫をふれあいの森プレーパーク入口先まで運ぼうということになりました。途中里山整備作業の林内作業車やテラレーで渋滞しており、すれ違えるところまで移動してもらい、ご迷惑をおかけしました。

ふれあいの森の遊歩道は坂になっている処では、雨で土が流され溝が出来ていたり、岩がむき出しになっていたり、歩きにくいところが何箇所かあります。とりあえずはプレーパーク入口先の坂です。深くえぐれている処は、土嚢袋のままおいて埋めました。以前の経験でこの方法が雨で砂礫が流れにくいことがわかっています。浅いところは袋から出して、掛矢で叩き込みました。テラレー満杯の砂礫はここだけでなくなりました。スコップ、山鍬、ジョレンを洗って作業を終了しました。 (赤阪 進)



## 炭焼き

炭焼き班は 炭材入れ5名、薪割り7名の 計12名で作業を行いました。

午前中、釜に炭材を入れ、昼食後、釜の入口を封鎖しました。

8月21日から25日の間 焼き上げ作業を行います。

本日は日中32度を超え非常に暑かったのですが、昼食後に食べた スイカが格別に美味しかったので、午後からの作業も頑張れました。

皆さま、暑い中お疲れ様でした。 (吉井 孝記)





### ゆきんコラム

まだまだ猛暑でしたが、ビオトープではシオカラトンボが飛んでいました。ところで、なぜシオカラって言うんだろう…?(まさか塩辛は関係ないよね?)と思い調べてみたら、”白い姿が塩辛昆布(塩昆布)に似てるから”と(笑)塩昆布好きだけど、間違っても食べないようにしなくちゃ!!

《先月のクイズの答えは④ゴジラでした》

## うるし谷整備

本日の参加者は男性5名、女性2名の計7名でした。

今年の夏は雨が降らず、うるし谷を流れる「コブシ川」も殆ど水が干上がり土が見えています。水の流れないので側面はもちろん底からも草が生えている状態ですが、水路を整備するには格好の条件で、草引き・草刈り、川に沿っての敷木・杭木の劣化が見られる箇所の交換を行いました。杭木は15本ほど交換、汗をかきかき男性陣が交代で杭を打ってくれました。私も杭打ちを少し体験させていただきましたが、掛矢が上手く杭に当たりません。

垂直にグイグイ杭を打ち込むには随分と修行が必要だと感じました。

リーダーのお声がけで休憩タイムには、Nさんからの涼しい差し入れに暑さを忘れホッとひと息。ひと汗かいた後の木陰を通り抜ける風が何とも心地よく至福のひと時でした。

休憩後も水路の整備、果樹周りの刈払機での草刈り、イノシシのぬた場を整えたり等の作業を行いました。猛暑のため午前中で作業は終了、みなさまお疲れ様でした。(藤原 みさこ)



おそらく過去最高と評価されるであろう暑い夏に、この迷走台風でひとまず一区切りついたと思いたいですね。

げんきの森では7月中旬から8月中旬までの一か月間ほとんど雨らしい雨はなかったのではないのでしょうか。

それでも森の木が枯れないことが不思議です。樹木を含めた森の植物たちは自分と相性のいい様々な菌類と共生し、菌類たちは植物から光合成で作られたデンプンをもらう代わりに土の中から水や様々なミネラルを集めて植物に供給しています。こんな暑い夏こそ菌類の活躍の場です。菌類たちは乾いた土の隅々から水を集め植物に供給します。そうした菌類の協力もあって、森の土がカサカサになった今年の夏でも森の植物たちは何とか枯れずに生き残ることができるのです。

森の仕組みは何とも不思議で素晴らしいですね。 岡田 和久